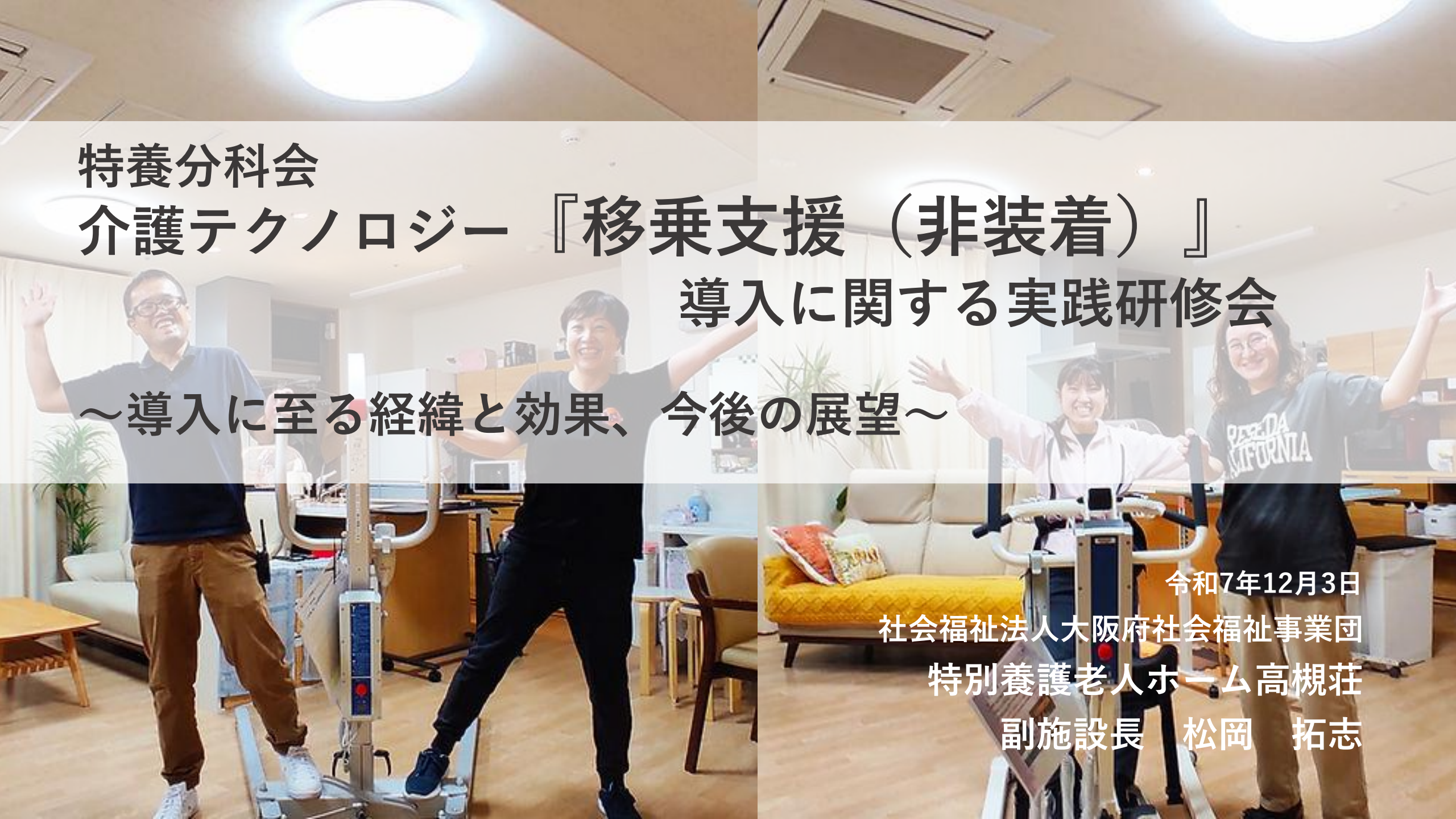




特養分科会

介護テクノロジー『移乗支援（非装着）』

導入に関する実践研修会

～導入に至る経緯と効果、今後の展望～

令和7年12月3日

社会福祉法人大阪府社会福祉事業団

特別養護老人ホーム高槻荘

副施設長 松岡 拓志

概要

1. 介護機器を積極導入するに至った経緯
2. 介護機器を導入する目的
3. 導入・活用している介護機器
4. 介護機器を使用することによるリスク
5. 介護機器を安全に使用する、標準化するための取り組み
6. 介護機器に係る今後の展望

介護機器を積極導入するに至った経緯

令和5年度

導入の根拠づけ／機器の選定

令和6年度

目的の整理と導入／試行と展開

令和7年度

操作方法の標準化／継続した質の担保／積極的な情報発信

- ・ 令和5年度に介護職員対象に腰痛アンケートを実施
- ・ 慢性的な腰痛者の低減／介護職員の内、シニアスタッフの活躍
- ・ 特定技能外国人など職員の多様化
- ・ 業界トレンドと学生層からの期待

介護機器を導入する目的



ケアの標準化

～ご入居者・ご利用者への安心の提供～

腕力や体形、性別や経験年数に関わらず、操作方法と手順を標準化すれば移乗介助の質を担保できる



職員の負担軽減

～年齢や性別に関係なく長く続けることができる環境～

職員の高年齢化等、業界病である腰痛者の低減により、長く続けることができる職場環境に



生産性の向上

～1人でできる・待たせることがないケア～

「ちょっと呼んできますので待っておいってください」を解消し、ご入居者に待ってもらわなく、1人でできる移乗介助



トレンドと先進性の体現

～求職者の期待と訴求材料～

介護機器の導入・推進がトレンドの中、求職者については「ないより**ある**」施設、「あるより**活用している**」施設を選ぶ傾向

導入と活用している介護機器（移乗系）



スライディングボード

移座えもんボードブルー
(株式会社モリトー)
参考価格：17,600円



スライディングシート

移座えもんシート Lサイズ
(株式会社モリトー)
参考価格：8,250円



導入と活用している介護機器（移乗系）



設置式リフト（居室）

介護リフトつるべーBセット
（株式会社モリトー）
参考価格：547,000円



設置式リフト（浴室⇔着脱室）
介護リフトつるべーF2Rセット
（株式会社モリトー）
参考価格：619,000円



導入と活用している介護機器（移乗系）



イージーアップ

イージーアップ
(アビリティーズ・ケアネット株式会社)
参考価格：580,000円



走行式リフト
KQ-781
(パラマウントベッド株式会社)
参考価格：583,000円



導入と活用している介護機器（移乗系）

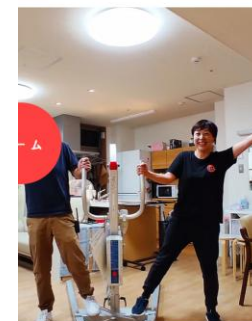


走行式リフト
EL-580
(株式会社いうら)
参考価格：558,000円



床走行式リフトは初期に2ユニットに1台ずつ導入。

重度化するご入居者（平均介護度4.3：令和7年11月1日時点）
への対応で、各ユニットに1台ずつ配置



介護機器ポータルサイト

高槻荘では介護機器の活用を推進し、
ご入居者・ご利用者と職員双方が
安全で、安心できるケアの提供を目指して取り組んでいます。



介護機器を運用中ことによるリスク

介護機器に係るリスクの特徴

介護機器使用中の介護事故は、ほぼ100%過失？
ご入居者やご利用者への安心を担保しようとする・・・

- ・ 使用目的を理解する
- ・ 操作手順を必ず守る
- ・ 備品の消耗・劣化を確認する



【実例】①

浴室にある設置型リフトを操作中、吊り金具が戸にひっかかっているのに気づかず操作を続行してしまったため、不意にひっかかりが外れて、介護者の目じりに吊り金具が飛んできて当たった。

【実例】②

床走行式リフトの充電アラームが鳴っていたのにも関わらず、受電せずして使用してしまい、昇降中にご入居者がスリングシートにつり下がったまま充電が切れて、宙ぶらりんになってしまう。

介護機器を安全に使用する、標準化するための取り組み

リフトリーダー養成研修の受講と活躍

- ・公益財団法人テクノエイド協会が開催するリフトリーダー養成研修を計画的に受講。
- ・リフトインストラクター（初級・中級）が13名在籍

・ 移乗介助に係る研修や介護職員初任者研修での講師など、教育場面で活躍。

・ 走行式リフトについては見極め制度を運用し、リフトリーダーの合格がないと使用できない。

・ 無資格・未経験者、特定技能外国人などの育成場面でも活躍



介護機器を安全に使用する、標準化するための取り組み

リフトリーダーの役割

リフトリーダーは、“人を守る技術”と“教える力”を兼ね備えた専門家です

1. 介護職員への技術指導・教育

リフトの使い方や操作方法の指導（例：スリングの装着、ご入居者の体位保持、安全確認）

ご入居者に応じた適切な機種選定と使用方法へのアドバイスの実施（スリングの選定）

職員へのスキルアップ研修の実施

2. 安全管理と事故防止の支援

誤操作や転倒、皮膚トラブル等のリスクを予測した指導の実施

リフト導入に伴うヒヤリハット・事故報告の分析と対策の提案

3. 介護現場へのリフト導入支援

施設に合った福祉用具の選定やレイアウトの提案（ベッド⇔車椅子の位置）

導入時のスタッフ研修の実施

4. 利用者のQOL（生活の質）向上支援

リフト活用により、安全で快適なベッド⇔車椅子間の移乗の実施

ご入居者の身体的負担・精神的ストレスの軽減

5. 介護者の負担軽減と職場環境の改善

腰痛予防・身体的負荷の軽減（ノーリフティングケアの実践）

人手不足対策や離職防止につながる環境整備

介護機器に係る今後の展望

- ・ 導入⇒定着⇒なくてはならない物までが大変
- ・ “1人でできる”（生産性）と“ケアの標準化”は大きな効果
- ・ 日々進歩する介護機器にアンテナを。新しい知見を集める・探すのもリフトリーダーの仕事に。
- ・ 介護機器は正しく使うことができるのが前提。使い方や手順、メンテナンスに手を抜くと大事故に。

介護機器の導入・活用が当たり前に。介護機器＝先進性。特に採用活動で大きな強み・求職者への訴求材料に。介護機器の利活用によりエビデンスのあるケアの提供、働きやすい・長く働くことができる職場環境づくりで中期的には差別化していく

